



The Gunma association of certified Care Workers News

一般社団法人 群馬県介護福祉士会 ケアワーカーズ・ニュース

■発行 一般社団法人
群馬県介護福祉士会事務局
〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町 13-12
群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内
TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173
URL <http://www.gunma-careworkers.net/>
E-mail info@gunma-careworkers.net

Vol.80 2018. 2

介護福祉士養成課程の新カリキュラム

介護福祉士養成課程の新カリキュラムが発表されました（平成 30 年 2 月 15 日発表）。

【教育内容の見直しの主な事項】

- ①チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充（下記が 30 時間→60 時間）
 - ・「人間関係とコミュニケーション」の教育に含むべき事項に、チームマネジメントを追加
- ②対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上
 - ・「社会の理解」の教育に含むべき事項に、地域共生社会を追加
 - ・「介護実習」の教育に含むべき事項に、地域における生活支援の実践を追加
- ③介護過程の実践力の向上
 - ・領域「介護」の目的に、各領域での学びと実践の統合を追加
 - ・「介護総合演習」と「介護実習」に、新たに【教育に含むべき事項】を追加
- ④認知症ケアの実践力の向上
 - ・「認知症の理解」の教育に含むべき事項に、認知症の心理的側面の理解を追加
 - ・「認知症の理解」の教育に含むべき事項に、認知症に伴う生活への影響のみならず、認知症ケアの理解を追加
- ⑤介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上
 - ・「介護実習」の教育に含むべき事項に、多職種協働の実践を追加
 - ・「こころとからだのしくみ」の教育に含むべき事項を、こころとからだのしくみⅠ（人体の構造や機能を理解するための基礎的な知識）とⅡ（生活支援の場面に応じた心身への影響）に大別
 - ・「発達と老化の理解」の教育に含むべき事項の「人間の成長と発達」に、ライフサイクルの各期の基礎的な理解を追記

以上のように、介護福祉士養成課程のカリキュラムが変わっていきます。私が学生の頃は 1650 時間の学びでしたが、それから 1800 時間へと学びの時間が増え、内容も「介護」「人間と社会」「こころとからだのしくみ」と 3 分野に分かれる等の変更や中身の部分である教科も変わってきていました。現場で働いていると、実習生や新入職員が学んでいる内容の変化もわからないことがあるのではないのでしょうか。まるで浦島太郎です。より専門性を問われ変化する教育課程の内容を知ること、本来の「求められる介護福祉士」の育成に繋がっていくはずで。そういった新しい学び、更新されていく学びを知っていくこと、学びを更新することができる場が介護福祉士会であると思っています。学び→実践→学び→実践…常に学び続け、実践し続けることが専門職としての義務ではないのでしょうか？みなさんは専門職として学びを更新していますか？

会長 小池 昭雅

介護職種の技能実習指導者講習を開催しました

平成 29 年 12 月 9 日(土)群馬パース大学福祉専門学校にて日本介護福祉士会主催の件名講習を実施しました。本講習は、昨年 11 月技能実習制度に介護職種が追加されたことから、介護職種の技能実習生の技能修得等が円滑に図られるよう、主に介護現場で技能実習生の指導に当たることになる技能実習指導員の方などを対象に行いました。

講習では、技能実習制度や労働基本法といった関係法令の説明、移転すべき技能内容や指導の方法、受け入れる際の留意点などをお伝えしました。1 日合計 7 時間の講習でしたが、参加者の皆さんは真剣に受講されていました。参加者の方々からは、『今後、技能実習生を受け入れることになったら今回の研修を参考にしたい』『技能実習生の受け入れはハードルが高いが、外国人労働者に対しての指導に応用できる部分があり、参考になった』などの感想をいただきました。

日本の介護技能が適切に移転されるということは、国際協力・国際貢献の重要な一翼を担うだけでなく、介護業界や介護職の社会的評価の向上、介護サービスの質向上にもつながっていきます。本会では、今後も日本介護福祉士会と協力し、講習を行ってまいります。

副会長 堀口 美奈子



レクリエーション研修を開催しました

2 月 3 日(土)前橋市総合福祉会館にてレクリエーション研修会を開催しました。

大泉保育福祉専門学校の香川先生をお招きして、アクティビティケアの援助方法と題し飛び出すカードやボール作り、ゲームをしながら仲間作りをしたりと 2 時間あっという間でした。

17 名の参加者からは、『とても楽しかった。』『レクがマンネリ化しているので事業所に持ち帰って実践したいと思います。』などの感想を頂きました。レクリエーションは介護者も楽しむことで利用者はより一層盛り上がり、楽しむことが出来るかと思えます。また、これからも現場に生かせるようなレク研修を取り入れて行きたいと思えます。ありがとうございました。

常任理事 南雲 三恵子



介護福祉士会 PR 動画について

群馬県介護福祉士会の PR 動画を作成しました。介護福祉士会の活動を知って頂ける内容で作成をしました！！準備が整い次第、ホームページに掲載していきたいと思えます。

また、ホームページ・フェイスブックにて研修情報や活動状況・イベントなどの情報発信をしていますので、是非、皆さんご覧ください。

そして職場の仲間や、お友達にもぜひお声かけ下さい！！よろしくお願い致します。

組織強化委員会

北毛支部**『交流会』**

平成 29 年 12 月 13 日(水)群馬パース大学渋川キャンパスにて、ワールドカフェ形式で交流会を開催しました。

今回のテーマは『チームの元気の素は?』
25名の参加者がワイワイと楽しく、交流し熱く語り合いました。

**『新年会開催』**

1月27日(土)伊香保グランドホテルにて新年会を開催しました。

18名の介護福祉士が集い、おいしいお酒や宴会料理を楽しみながら、新年の抱負や熱い想いを語り合いました。



支部長 高橋 将弘

東毛支部**『新年会開催』**

2月3日(土)太田市内で新年会を開催しました。日頃は勉強会のみで親睦を深める機会が少ないため、とても有意義な時間となりました。

**『来年度の予定について』**

毎月勉強会に参加している会員が集い、平成30年度の事業計画案を作成しました。

今までの移動・入浴の技術のほか、新たな内容や会場も設定しています。

詳細は、3月の支部総会・研修会開催時にお知らせいたします。



支部長 芝崎 光弘

**支部の
ページ****中毛支部****『福祉用具体験と施設見学会』**

12月16日(土)にパナケア真中さんの事業所で福祉用具について学びました。新しいものも多くありとても参考になりました。

また、二之沢パナケア老人保健施設と介護老人福祉施設の施設見学にも参加しました。他施設での取り組みについて多くの学びがありました。なかなか他施設について知る機会が無かったので参考になりました。

支部長 青山 公大

**西毛支部****『研修会』**

11月15日(水)に介護職が知っておきたい医療知識としまして研修会を行いました。

講師には昨年が続いて看護師、ケアマネでご活躍されている小林先生をお願いいたしました。

今回は主に冬場の感染症とその対策で、丁寧に分かりやすく説明していただきました。

その中でも感染経路の把握とその消毒や除去が大切と話されていました。

例えば、嘔吐物は立っていると5メートル、座っていても3メートルは飛散します。掃除、消毒の範囲はどうでしょうか・・・?

今年はインフルエンザが大流行ですが、今回の講義通りの対応のおかげでまだ私がかかってません！小林先生に感謝です。

支部長 大井 和之



生涯研修体系研修

ファーストステップ研修の学び

「チームのまとめ役としてのリーダーシップ」講師：介護福祉士会 副会長 高山 啓一氏

私は現在特別養護老人ホームの看護師とし、全ユニットの利用者の健康管理をしています。まだ勤めて短く、入居者の名前と顔が一致したばかりです。

以前の職場は介護と看護と一緒に仕事をしていましたが、現在の職場は別々で考え方の違いもあり、自分でも多くの矛盾を感じる場合があります。今回の研修受講によって別々の考え方にとらわれず、自分のできることや考え方が変えられる事を知りました。今後の自分に必要な事をたくさん学ぶことができました。(H. F)



「セーフティマネジメント」講師：介護福祉士会 富澤 伸也氏

今回の研修「セーフティマネジメント」でした。「事故は0にならない」のが介護現場です。しかし、要因を客観的に分析し具体的な対策を立てることで「少なくはできる」と学びで同感しました。手法としてSHELモデルで演習を体験したことで、今では自職場でも取り入れ、事故をより少なくするために奮闘しているところです。(T. S)



「自職場の分析」講師：高崎健康福祉大学 原田 欣宏先生

今回自職場分析という内容で講義を受けました。分析となると私たちは「自分の職場の至らない点」に目が向きがちでした。ところが、今回の講義で「自分の施設の強みとは何か」「利用者様（お客様）にアピールできるウリとは何なのか」を考えることが大切になっているという事を学びました。目から鱗が落ちる思いで刺激的な学びでした。(K. K)



「平成 30 年度ファーストステップ研修開催します」

ファーストステップ研修は、認定介護福祉士養成研修の受講要件における認定介護福祉士認証機構が定める研修の一つです。認定介護福祉士やスキルアップに興味のある方は、同封のチラシをご覧ください。お申し込みください。 常任理事 須川 ひとみ

「サービス提供責任者研修を終了しました」

今年度のサービス提供責任者研修は9月に開始して12月24日（日）「クリスマスイブ」で6日間が終了しました。本研修は、訪問介護事業所のサービス提供責任者や今後サービス提供責任者になろうとする人を対象に、求められる実践的な知識や技術を学び、リーダーとして適切な役割を果たせる能力を高めることを目的に実施しました。

研修では、訪問介護計画・手順書の作成及びモニタリング・記録の方法を、合計12時間かけて演習をしながら学びました。この他にも、訪問介護員の育成・研修方法や介護事故やクレームへの対応と予防、会議の持ち方等、講義だけでなく演習も織り交ぜながら学びを深めました。今年度も熱気に包まれ、実のある研修が終了できたかなと思います。

ここで受講生の皆さんからの声を掲載したいと思います。「訪問介護は情報が少ないと感じていたので、学びと仲間、情報共有などを現場に活かしたい」「こんなふうにしていかなければいけないことの再確認」「言われてみれば確かに！」「サ責はすべてに対してコミュニケーション能力が必要で、言葉選びや伝え方の大切さがわかったが、コミュニケーションは難しい」「他の事業所の様子が聞けたこと、同じ事で悩んでいることがわかり少し安心できた」「学びが大切。自分のリセットも大切」受講生と一緒に悩み、考え、解決してきました。ここで終了にしないで常に疑問を持ち、研鑽していただきたいと思います。 理事 攪上 ゆき江



現在の会員数

群馬県介護福祉士会の会員数は、

『891名』です。

【平成30年1月末現在】

■編集後記

寒さも続く今日このごろ皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の冬は雪も多く、また例年にない寒波とインフルエンザの多さと様々なことがありましたが、さいわいうちの施設ではインフルエンザもなく皆様健康に過ごす事が出来ました。改めて冬の寒さと手洗いうがいによるインフルエンザ予防の大切さを実感しました。 中山